

2024

発行日 毎月1日 通算発行 459号

7



協会報

今月のトピックス

馳 浩知事を表敬訪問

北陸地方整備局から感謝状の授与

災害復興の足音



《石川の工芸シリーズ⑦》

石川県立美術館蔵

くろえ きよもんまるつば
黒絵魚紋丸壺

十代 おおひ ちようさえもん とうやさい 大樋 長左衛門 (陶冶斎) 【昭和2(1927)年-令和5(2023)年】

制作年/昭和53(1978)年 サイズ/口径4.5×胴径32.7×高さ27cm
楕円形のどっしりとした器体に、黄味がかった温かみのある白化粧を施し、上部の口縁部と側面に黒釉で丸く窓を配して、白と黒の対比が明快なコントラストをなしている。側面に見られる魚紋は、抽象化された無駄のない線描で表現され、まるで象形文字のような素朴な味わいを見せている。器体のかたちと意匠の組み合わせが、絶妙なバランスを保ち、作者の秀でた造形感覚が窺われる。(石川県立美術館HPより引用)

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 7



◀石川の工芸シリーズ⑦▶
くろ えびし むんまるつぼ
黒絵魚紋丸壺
十代 大樋 長左衛門（陶治斎）
（おおひ ちやうざえもん とうやさい）

1	今月のトピックス			
	馳 浩知事を表敬訪問	1	
	北陸地方整備局から感謝状の授与	2	
2	災害復興の足音	3	
3	石川県土木部だより	4	
	「金沢港将来ビジョン」の策定			
	石川県土木部港湾課			
4	令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.11	6	
	丸西・道場特定建設工事共同企業体			
	令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.12	8	
	株式会社金沢舗道			
5	地区協会コーナー	10	
	未来を担う若年層へ、人材確保・育成に取り組む			
	(一社)金沢建設業協会			
6	今月の「輝き！」さん No.111	11	
	太陽工業株式会社 南 佳祐さん			
7	協会だより			
	常任理事会の開催	12	
	熱中症及び労働災害防止対策に関する石川労働局長からの要請	13	
	土木委員会			
	能登半島地震における災害復旧工事(直轄)の入札契約に関する説明会の開催	13	
	建設青年委員会			
	女性部会「百万石小町『結』」全体会議・講演会の開催	14	
	能登半島地震の被災地支援ボランティア活動	15	
	建設技術研修所			
	第46回測量コンテストの開催	16	
	石川県ICTフェアの開催	16	
	工事監督者講習会の開催案内	17	
	令和6年度いしかわインフラ・フォトクリップ募集	18	
8	石川県建設産業連合会だより			
	令和6年度理事会・通常総会の開催	20	
9	石川県土木施工管理技士会だより			
	令和6年度通常総会・講演会の開催	21	
	JCMセミナーの開催	21	
10	関係機関からのお知らせ			
	国土交通省 北陸地方整備局より 有資格業者の皆様へ 発注者網紀保持にご協力願います	22	

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- > ホーム
- > 協会案内
- > お知らせ
- > 講習会・研修会
- > 協会報
- > 指名競争入札参加
- > お問い合わせ

“未来”を創り
“ふる里”を守る
建設産業

今月の
「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

ホームページをご覧ください

今月のトピックス

馳 浩知事を表敬訪問

石川県建設業協会の令和6年度通常総会で新役員が選任されたことから、6月6日(木)、鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事の5名が、馳 浩知事を表敬訪問しました。

鶴山会長は、令和6年能登半島地震からの復旧・復興への対応が最大の課題であることを伝えるとともに、持続的・安定的な予算の確保、工事発注・施工時期の平準化などを要望しました。

馳知事は、「大規模災害の発生時には県建設業協会にお世話になるばかりであり、今般、防災という観点から県防災会議に加わっていただいた。今後の災害復旧工事では、スケジュール感を示し、それを着実にこなしていけるような環境づくりに配慮していきたい。」と述べられました。

その後、建設業を取り巻く環境への対応等について懇談が行われました。



馳知事との懇談



知事表敬に引き続き、西垣淳子副知事、徳田 博副知事を訪問しました。



西垣副知事との懇談



徳田副知事との懇談

馳知事、両副知事の表敬後、鈴見裕司土木部参与（他土木部幹部）、吉田健一農林水産部長（他農林水産部幹部）への挨拶を行いました。懇談では、復興JVを含めた対応への協力、従来工事の継続化などを要望しました。



土木部幹部との懇談



農林水産部幹部との懇談

北陸地方整備局から感謝状の授与

北陸地方整備局から、令和5年5月の能登地方を震源とする地震及び令和6年1月の能登半島地震における災害支援に尽力した功労団体として、「令和5年度 災害対応功労者感謝状」を賜りました。

贈呈式は、6月21日（金）、新潟市の美咲合同庁舎において開催され、遠藤仁彦北陸地方整備局長から真柄卓司副会長に感謝状が手渡されました。遠藤局長は、「大変な状況下、強い使命感で災害対応をいただいた。皆さんの支えによって迅速な復旧につなげることができた。今後も手を取り合い、様々な災害に打ち勝っていききたい。」と述べられました。



災害復興の足音

若手技術者・技能者の活躍

令和6年能登半島地震では、多くの仮設住宅が急ピッチで建設されていますが、将来の恒久的な利用を視野に入れた「木造仮設住宅」は、当協会会員企業を含む県内業者により建設が進められています。



穴水町で建設中の木造仮設住宅

その中で、会員企業の若手技術者・技能者が木造応急仮設住宅の建設現場で活躍しています。災害復興の現場で経験を積み活躍することが、これからの建設業を担う大きな力となるものと期待されます。



石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！ がんばろう石川！

石川県土木部だより

「金沢港将来ビジョン」の策定

石川県土木部港湾課

1 はじめに

金沢港は、近年では世界的な建設機械メーカーのコマツの立地や北陸新幹線開業も相まって、貨物船やクルーズ船が多く寄港するなど、大きく発展してきました。

そのような中、コンテナ船の大型化など、金沢港を取り巻く環境が変化していることから、港湾利用者や県民のニーズ、能登半島地震で直面した課題などを踏まえ、長期的視点に立った港の目指すべき姿を描く「金沢港将来ビジョン」を本年3月に策定しました。

2 金沢港の主な課題と対応方針

金沢港を取りまく環境の変化に対する、主な課題とその対応方針は次のとおりです。

【コンテナ船の大型化への対応】

日本に寄港している韓国・中国航路のコンテナ船は大型化が進んでいます。

一方、金沢港は他港に比べ、岸壁水深が浅く、大型コンテナ船が寄港できません。そのため、大浜沖合にコンテナターミナルを新設することにより、地域間競争に負けない港づくりを目指します。

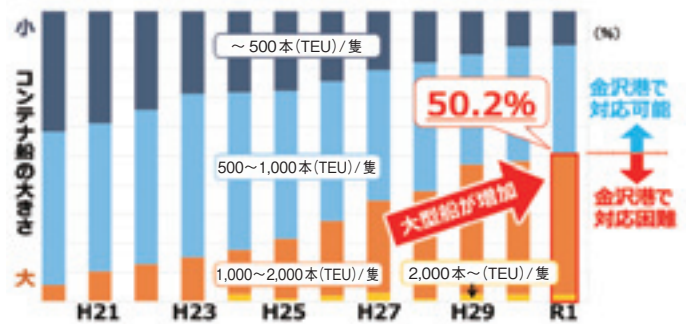


図1 コンテナ船の動向 (中国・韓国航路)

【作業効率が悪く、狭いヤードへの対応】

金沢港のコンテナヤードは不整形で狭いため、貨物動線が輻輳しています。また、鋼材船とセメント船の岸壁が同一のため、入港調整が必要となっており、作業効率が悪くなっています。

そのため、外貿貨物の大浜国際物流ターミナルへの集約・機能強化及び物資輸送強化のための道路ネットワークの強化などにより、物流環境の改善を目指します。



図2 戸水ふ頭、御供田ふ頭の利用状況

【増加するクルーズ需要への対応】

金沢港では、世界的な日本への旅行需要の高まりや、港から5km圏内に魅力的な観光資源が集積されていることから、クルーズ船の寄港の増加が見込まれます。

そのため、受け入れ体制の強化と、民間事業者と連携した質の高い賑わい空間の創出を目指します。

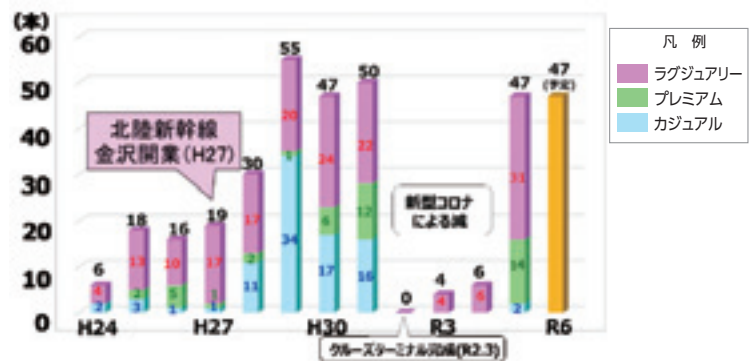


図3 クルーズ船の寄港数

3 令和6年能登半島地震を踏まえた課題と対応方針

元日に発生した能登半島地震では、発災直後から金沢港を起点として、被災地へ支援物資を海上輸送するなど、港が持つ機能を最大限発揮しました。

一方で、物流機能を担う御供田ふ頭、戸水ふ頭において、岸壁の損傷や背後用地の陥没など、広範囲で被害が発生し、物流機能に支障をきたしました。

こうした状況を踏まえ、大規模災害時でも物流機能が停滞しないように、港湾施設の強靱化や防災拠点としての役割をビジョンに盛り込みました。



写真1 自衛隊による活用状況



写真2 液状化による被災状況

4 ビジョンを踏まえた今後の事業展開

ビジョンでは、日本海側の今後の物流をリードし、クルーズ船寄港を核とした賑わい創出を目指すとともに、今回の能登半島地震を教訓とした災害時にも強い金沢港を目指すため、金沢港将来ビジョンの基本理念として、「物流の未来を牽引し、賑わいを奏でる強くしなやかな金沢港」を掲げ、31の具体的な施策を取りまとめました。

今年度は本ビジョンの実現に向けて、具体的な施設の規模や配置などを示した港湾計画を改訂し、令和7年度からの新たな事業展開を目指します。



図4 今後の事業展開

5 おわりに

今後とも、金沢港が日本海側における貨物・クルーズ・賑わいの拠点港として飛躍し、地域のさらなる発展につながるよう、石川の海の玄関口にふさわしい港づくりを行っていきます。

令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.11

施工企業名：丸西・道場特定建設工事共同企業体

■工 事 名 木場潟公園東園地里山交流ハウス（仮称）建設工事（建築）

■工 事 分 野 建築（営繕）工事

■施 工 場 所 小松市三谷町 地内

■工 事 概 要

公園施設（木造平屋建て×7棟）の新築工事一式

建築面積計：1,461.14㎡

■工 期 令和3年9月30日～
令和4年12月15日



完成写真（外部全般）

■推 薦 理 由

小松市の木場潟に新たに公園を整備する大型事業であるため、同一敷地内での営繕工事および土木工事が多数あったが、他工事に配慮するとともに積極的な工程調整および安全管理に努め、事故もなく良好な出来栄で工事を完了した。

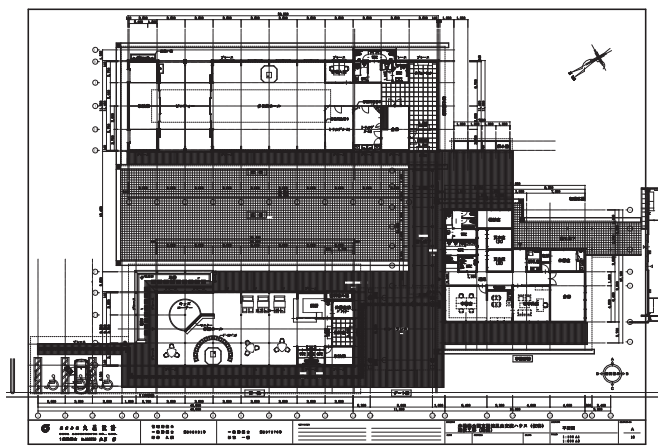


完成写真（内部1）

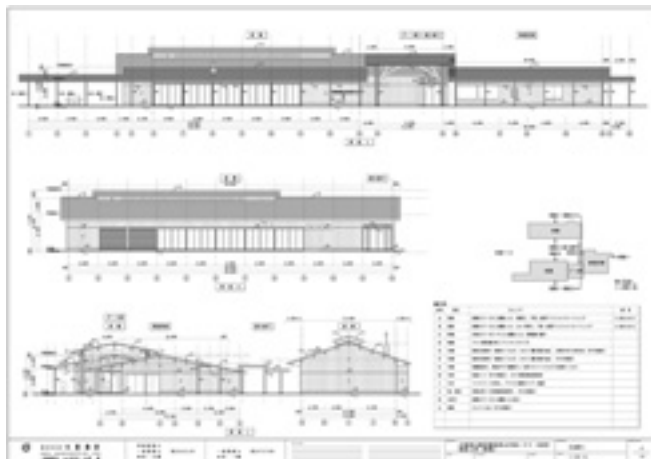


完成写真（内部2）

また、地元からの要望にも柔軟に対応し、同時期に施工していた業者に声掛けをして、事業関係者一体となって地域の清掃活動に参加した。



平面図



立面図



地元産材（能登ヒバ）使用



地元産材（日用杉）使用



地元産材（滝ヶ原石）使用



基礎コンクリート打設状況



木軸地組状況



木軸立て方状況

■現場代理人等のコメント



現場代理人等
蘆邊 亮氏

この度は、知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。工事にご協力いただいた多くの関係者の皆様のおかげであると深く感謝しております。

本工事は、「水郷」として県民に親しまれる県営都市公園「木場潟公園」に、新たに整備が進められた「東園地」の中に、利用拠点として「里山」の魅力を発信する施設となる「里山交流ハウス」を建設する工事であります。

「里山交流ハウス」は、大小合わせて7棟の建築物が存在し、一部では建物同士が折り重なるように密接している為、干渉しあう建物相互の施工の順序を計画し、ロスを極力減らす事に重点を置き管理しました。また本工事の立地上、本工事の施工が周囲の別途発注工事に与える影響も大きく、別途発注工事施工者間の日々の調整も、工程管理における重要課題でありました。

建物の構造材や化粧材には、能登ヒバ、日用杉、滝ヶ原石、日華石等の地元産材が利用されており、それらには調達に時間が掛かる材料も多く、不測の材料不足に陥らないように、極力転用の利く部材寸法構成として計画し、かつ、多めの材料手配を意識しました。

最後になりますが、事故なく工期内に無事に終わらせることができました。今後も、本工事での経験を活かし、また、この受賞を励みにして、更なる技術力の向上に努めてまいりたいと思います。

令和5年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.12

施工企業名：株式会社金沢舗道

■工事名 主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事（舗装7工区）

■工事分野 舗装工事

■施工場所 羽咋市柳田町 地内

■工事概要

施工延長 L=200m

表層工 A=1,547㎡

基層工 A=1,614㎡

As安定処理 A=1,414㎡

上層路盤工 A=1,585㎡

■工期 令和4年3月14日～令和4年8月31日

■推薦理由

本工事は、主要地方道金沢田鶴浜線（のと里山海道4車線化）における舗装新設工事。

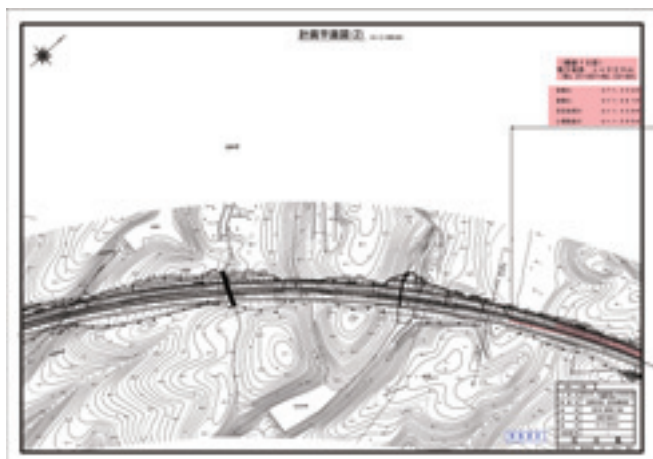
当該路線は自動車専用道路であり、走行性や耐久性の高い舗装が求められる中、平坦性の社内目標値を達成するために施工検討会を実施し、アスファルト混合物の温度管理値を専属の管理員以外でも確認できるよう随所に掲示して温度管理に努めるなど、舗装の品質向上に努めたほか、車道部と路肩部を同時施工できるようにアスファルトフィニッシャを2台用いて工程短縮を図り、良好な出来栄で工事を完成させた。



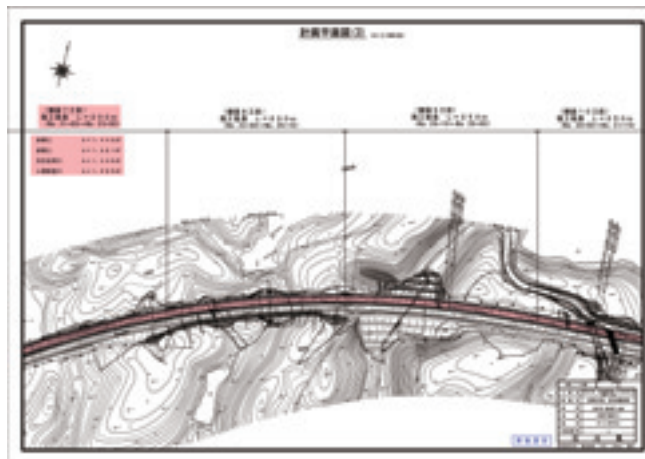
着工前



完成



計画平面図 (2)



計画平面図 (3)



新設 路盤敷均し状況 (マシンコントロール)



新設 舗装敷均し状況



新設 舗装敷均し状況



既設 路面切削状況



既設 舗装敷均し状況

■現場代理人等のコメント



現場代理人等
鈴木浩介氏

この度、優良建設工事知事表彰を頂きまして、誠にありがとうございます。これもご指導いただいた中能登土木総合事務所の皆様、また安全協議会の皆様のご協力のお陰と深く感謝しております。

本工事は、のと里山海道の4車線化に伴う、舗装工事で、セパレート供用する日が決められた厳しい工程の中、関連する他工区との施工調整に加え、工程を短縮することが課題となっていました。また、現道との擦り付け区間も含まれていたため、一般車両への安全対策にも十分配慮する必要がありました。工程短縮の取組みとして、路盤施工時にICT建機を活用するとともに、舗装施工時はアスファルトフィニッシャーを2台投入し、作業効率の向上を図りました。その結果、事故もなく工程を短縮することができ、4車線化に伴う全ての工事関係者が一丸となって供用を迎えることができました。最後に、本工事を通じて多くの方々と知り合いになり、多くを学ぶことができたことを糧とし、今後ともより良い工事施工ができるよう努力したいと思います。

地区協会コーナー

未来を担う若年層へ、人材確保・育成に取り組む

(一社)金沢建設業協会

風水害や地震など自然災害が頻発している現代において、「地域の守り手」として我々建設業は必要不可欠な存在です。しかし、わが国では少子高齢化の進展により、労働人口が大きく減少し、建設業界でも慢性的な人手不足、技術者や技能者の高齢化が顕著であり、将来を託す若年層の育成・担い手の確保は喫緊の課題となっています。

当協会では、「つくる楽しさ」、「建設業の魅力」などを発信し、小学生や中学生にも「建設」に興味や関心を持ってもらうため、昨年度に引き続き当協会で開催している未来を担う人材確保・育成対策について、ご紹介させていただきます。

1 小学生への特別授業

昨年度、犀桜小学校2年生66名に積み木を使い、建物・道路など「積み木でまちづくり」と題して自分たちの地域の街を作ってもらいました。朝霧台小学校101名と中央小学校88名の6年生には、「建設ってなに？」と題し、クイズ形式のDVD鑑賞とペーパータワー作りで高さを競い、建設に対して興味や関心を持ってもらいました。児童からは、「作る喜びを実際に体験し、面白かった。」「興味が湧いてきた。」など、好意的な意見を多くいただきました。今年度、2年生は米丸小学校と杜の里小学校、6年生は泉小学校と小立野小学校で開催予定です。

2 中学生への啓発冊子の配布、MV（ミュージックビデオ）の作成

昨年度、金沢市内の中学2年生全員（公立・私立共約5千人）に、建設業の仕事内容が分かりやすく興味をそえられるような啓発冊子「ようこそブカツみたいな建設業へ」を配布しました。今年度も引き続き、5月に市内の全中学2年生に配布しました。

さらに、MVを作成し、リズムの良い音楽と映像で中学生の興味をそそり、少しでも建設業への関心と認知度アップに繋がることを期待しています。このMVは、今年度予定している特別授業の冒頭で流す予定です。



ペーパータワー



積み木でまちづくり



積み木でまちづくり作品



MV（ミュージックビデオ）冒頭画面

今月の「輝き！」さん
No. 111



太陽工業株式会社 所属：工務部重機課 経験年数：7年 年齢：29歳	みなみ けいすけ 南 佳祐さん
--	--------------------

小松市一針町の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

弊社は、昭和44年創業の舗装会社で、地域の道路や駐車場等のアスファルト舗装工事を行っています。私は、今年から工務部重機課の工事主任として、機械オペレータ作業や重機の取り扱いを勉強中です。

—建設業を選んだ理由、入社のも動機等について教えてください。

私は小松市出身で、地元の工業高校を卒業後、公務員を目指して金沢の専門学校に進み、陸上自衛官になりました。金沢駐屯地で3年余り勤めた時に体調を崩し、やむを得ず退職することとし、建設会社に勤めていた父の紹介で太陽工業に採用していただきました。転職後は体調に問題なく、日々業務に頑張っています。

—仕事の苦労や、やりがいを感じるのどのようなときですか？

昨年まで工務部工務課で現場監督をしていましたが、次のステップとして工務部重機課に異動しました。

今は、バックホウやアスファルトフィニッシャー等の重機操作の習得と技術向上に取り組んでいます。アスファルト舗装は、決められた厚みで平坦に敷設しなければならず、下地となる路盤の敷きならしやスムーズな機械操作が重要となります。これまで自分で満足いく現場は1~2ヵ所ぐらいですが、先輩や上司に教わりながら、技術習得に努めています。工事の性格上、暑さは避けることはできませんが、普段当たり前に行き来している道路は我々の作業があってこそ維持できるものですし、世の中に必要な業種だという誇りと使命感を強く感じています。

また、お客様から「きれいになった、ありがとう。」と言われると本当に嬉しく、やりがいを感じます。

—将来の夢、目標は？

当面は、土木施工管理技士1級・2級の取得が目標ですが、様々な資格を取得したいです。所属も変わって多少の不安はありますが、やりがいのある仕事ですから、少しでも早く重機の操作に慣れ、先輩方のように的確でスムーズな作業が行えるよう頑張ります。

—休日にはどのように過ごしていますか？

しっかり休みが取れるので、映画を見に出かけたり、好きな格闘技をテレビで見たり、知人の道場にスパリングに行く等しています。柔道は初段で空手も少しやったことがあり、自衛官時代は徒手格闘術を習いました。地元消防分団に所属し、消防操法大会に出場して、昨年は市の大会で優勝しました。今年は二連覇を目指しています。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

建設業は、人々の生活に欠かせない道路や建物等の社会インフラを支える重要な仕事です。厳しい面も色々ありますが、その誇りとやりがいを感じてもらいたいと思います。是非チャレンジしてください。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
毎月第4火曜日 18:00~18:05



エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

開催日時 令和6年6月7日(金) 12:45~14:00
開催場所 石川県建設総合センター
出席者 正副会長、常任理事、専務理事、
各地区協会専務理事(事務局長)、県協会事務局

概要

鶴山庄市会長が、「能登半島地震被災地域の生活インフラの復旧に積極的に取り組んでほしい。国会では、担い手3法の3次見直しが審議されている。また、国土強靱化5カ年計画は令和7年で終わることから、実施中期計画の策定や予算措置の状況等、今後注視していかねばならない。」と挨拶しました。

その後、下記議題について報告・協議をしました。



〈議題〉

1. 今後の主な日程について
2. 建設工事受注高について
3. 石川県令和6年度6月補正予算概要について
4. 各地区協会の令和6年度活動方針について
5. 建設業をめぐる最近の話題について

令和6年

北陸三県統一

夏の交通安全県民運動

～交通マナーアップいしかわ～

期間 7月11日(木)~7月20日(土)

運動の重点

- ◆ こどもと高齢者の交通事故防止（北陸三県統一重点）
- ◆ 自転車の安全利用の推進（ヘルメット着用と自転車保険への加入等）
- ◆ 飲酒・妨害運転等の根絶と運転マナーの向上

石川県・石川県交通安全推進協議会

熱中症及び労働災害防止対策に関する石川労働局長からの要請

要請日時 令和6年6月25日(火) 13:30~14:10
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 石川労働局 八木健一局長 他労働局幹部
 県協会 鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事
 建災防石川支部 加藤雅章事務局長

概要

労働局では、5月から9月にかけて「STOP! 熱中症いしかわクールワークキャンペーン2024」を実施し、特に熱中症の8割以上が集中する7月・8月を熱中症予防の重点取組期間としています。また、「第14次労働災害防止計画」のもと、転倒災害及び高年齢者の労働災害防止等の重点対策も推進しています。昨年度の県内の職場における熱中症による死傷者174名のうち、建設業が62名と全体の約36%を占めたことなどから、八木局長が当協会を訪れ、鶴山会長に「熱中症及び労働災害の防止対策の更なる取り組み」を要請しました。

鶴山会長は、近年の猛暑状況からも建設業においては熱中症予防の意識は高く、水分や塩分補給をはじめ暑さ指数の把握等、様々な対策を講じつつ、現場での注意喚起や確認を行っている。今年も、通常業務に加え災害復旧・復興工事の対応もあるため、機会をとらえて会員に周知するなど一層の熱中症対策を徹底したい。引き続き、行政機関とも連携を図りながら取り組みを進めていく。」と応えました。



要請書の伝達



概要説明等

土木委員会

◎能登半島地震における災害復旧工事(直轄)の入札契約に関する説明会の開催

開催日時 令和6年6月14日(金) 10:00~11:30
 開催場所 石川県建設総合センター
 説明者 北陸地方整備局 技術開発調整官 澤山雅則 他担当官
 金沢河川国道事務所長 五十川泰史
 能登復興事務所長 杉本 敦 他担当官

参加者 75名

概要

能登半島地震の災害復旧工事(直轄工事)の発注見通しが4月1日に公表され、4月下旬から入札公告が順次行われていることを踏まえ、災害復旧工事(直轄)の入札契約関係全般について、理解を深めるための説明会を開催しました。

北陸地方整備局の担当官から、「工事の発注方針や総合評価落札方式の考え方」「各種JV制度の仕組み・役割、入札契約手続き」等について説明をいただきました。その後の質疑応答では、復旧・復興JVや地域維持型JV制度の代表者と構成員の役割、技術者の専任・非専任の職務に関する活発な意見交換が行われました。



建設青年委員会

◎女性部会「百万石小町『結』」全体会議・講演会の開催

◎令和6年度全体会議の開催

○ 令和6年6月19日(水)、ANAホリデイ・イン金沢スカイで本年度全体会議を開催し部会員83名が参加しました。森高靖子部会長及び当協会の建設青年委員会 明翫圭祐委員長の挨拶に続き、事務局が「令和5年度の活動報告」及び「令和6年度の活動計画」等を説明・報告しました。



○ 令和6年度の活動計画は、現場見学会や高校生との意見交換会、児童や保護者向けイベントへの参加、インスタグラムを活用した「部会の活動や働く姿」の情報発信等の継続について取り組む他、岩手県建設業女性協議会からの能登半島地震の見舞金の活用について、奥能登2市2町の認定こども園及び保育所に絵本を贈呈することを報告しました。

◎令和6年度講演会の開催

○ (株)キャリア代表取締役 倉橋和世氏をお迎えし、「イキイキ働く自分像を描く」と題した講演及びワークショップを開催しました。

○ 「イキイキ働くために考える視点」を主眼として、「自分自身の強みを知り活かし方を考える」「自分がイキイキ働くために明日から取り組めることを考える」等について講演がありました。



倉橋講師

○ ワークショップでは、「自分が最も成長した時期もしくはやりがいを感じていた仕事について」や「自分の強みの分析」、「自分のクラフティング計画」の各テーマに取り組みました。各自が自らの考えをまとめて書き、各テーブルごとにディスカッションを行いました。



ワークショップ

○ 倉橋講師からは「働く時間をいかに有意義に自分のために過ごしていくかというのは、自分の人生を豊かにすることに繋がっている。面白く働くために自分が取り組めることから、一歩を進めていただきたい。」等と会員へのアドバイスをいただきました。参加者からは、「自分のキャリアを見つめ直す良い機会になった。」「グループ内で共感することも多く、新しい発見もあった。」等の感想が寄せられ、大変好評でした。

◎能登半島地震の被災地支援ボランティア活動

建設青年委員会及び北陸建設青年会議では、能登半島地震で被災した輪島市南志見地区において、災害ゴミの搬出作業等の被災地支援ボランティア活動を行いました。

◎建設青年委員会の活動

6月4日(火)から7日(金)までの4日間、会員延べ66名が、被災家屋からの災害ゴミの搬出作業を行いました。道路損壊等でこれまでボランティア活動が行われていなかった輪島市南志見地区において、損壊家屋からタンスや冷蔵庫など災害ゴミの搬出や崩落した瓦の除去等に従事しました。会員は「まだまだ多くの支援が必要とされている中、被災された方々の生活再建に貢献したい。」との思いで積極的に取り組み、住民の方から「自分達ではできない力仕事をしていただき大助かりです。」等の言葉をいただきました。



◎北陸建設青年会議の活動

新潟県・富山県・石川県の建設業に携わる若手経営者で構成する北陸建設青年会議では、6月20日(木)及び21日(金)、輪島市南志見地区において、災害ゴミ搬出のボランティア活動を行いました。

被災地域に少しでもお手伝いすることがあればとの思いから、メンバー延べ40名が、東日本建設業保証(株)石川支店の参加者とともに取り組み、大宮 正輪島市議会副議長他から「遠方からもお越しいただき大変胸が熱くなる思いです。」等の謝辞をいただきました。



建設技術研修所

◎第46回測量コンテストの開催

開催日時 令和6年6月4日(火) 9:30~13:00
 開催場所 金沢市ものづくり会館及び隣接ふれあいゴルフ広場内
 参加者 地区協会対抗競技:6チーム12名
 企業・高校生対抗競技:企業20チーム40名、
 高校生3チーム6名
 共催 (一社)石川県測量設計業協会

概要

水準測量の基礎技術を競い合い、技術の向上と親睦を図るため、第46回測量コンテストを開催しました。競技は、地区協会対抗競技6チーム12名(珠洲協会、鳳輪協会、七尾鹿島協会は震災対応のため欠席)、企業・高校生対抗競技に企業20チーム40名、金沢市立工業高校から3チーム6名、合計29チーム58名が参加しました。開会式に引き続き、外業の競技に移り、各チームがふれあいゴルフ広場内に設置された各コースでの測量作業に取り組み、その後、内業の競技を行いました。競技では日頃の業務や実習等で培った技術を競い、石川県測量設計業協会の松浦審査委員長をはじめ7名の審査員が、精度や基本動作、所要時間(外・内業)、各測点・往復精度、手簿・成果表を細かくチェックしました。審査結果は後日通知し、7月24日(水)に受賞者の表彰式を開催予定です。



川西事務局長の開会挨拶



内業に取り組む参加者



外業に取り組む参加者

◎石川県 ICT フェアの開催

開催日時 令和6年6月28日(金) 10:00~17:00
 令和6年6月29日(土) 10:00~17:00
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 延べ132名

概要

石川県土木施工管理技士会との共催による「令和6年度石川県ICTフェア」を開催しました。講演のほか、両日、会場において出展企業によるブースを開設し、システムやソフトウェア等の展示・デモンストレーションを行いました。



講習



出展企業によるブース開設

【6月28日】

1	企業等におけるサイバー犯罪対策の重要性について	石川県警察本部サイバー犯罪対策課 警部 井口慎一郎 氏
2	建設DXに向けた取り組みの紹介	(一財)日本建設情報総合センター 北陸地方センター長 渡邊昌彦 氏
3	ICT活用による建設現場の安全性と生産性の向上	コマツ石川(株) レンタル営業部 スマコン推進室 課長 岩坂元司 氏
4	まだまだ効率化できる！情報共有システムの活用方法について	(株)アイサス 営業部 寺岡由希子 氏
5	“RICOH kintone plus” 作業日報からはじめる業務DX化	理光商事(株) kintone 推進グループ 平野智宏 氏他

【6月29日】

1	大人から子供まで楽しめる土木の新しい世界	CIVIL CREATE(株) 取締役COO 長田将吾 氏
2	ドローン撮影におけるルールについて	(株)タップス 林 大輔 氏
3	明日からできる『働き方改革』 ～i-Con・BIM/CIMの有効活用～	福井コンピュータ(株) 渡部達哉 氏
4	日常気にしない建設業でのセキュリティと今後役立つAI	(株)G Success 代表取締役 北野雅史 氏

◎工事監督者講習会の開催案内

工事監督者講習会を下記のとおり開催いたします。

◇開催日時・場所

開催日	時間	会場
7月29日(月)	13:30～15:00	【金沢】石川県建設総合センター 7F大ホール 金沢市弥生2-1-23
8月5日(月)	14:00～15:30	【能登】奥能登総合事務所42.43会議室 (能登空港ターミナルビル4階) 輪島市三井町洲衛10部11-1

◇講習内容予定

講義題名と講師	
「施工体制の留意点について」	石川県土木部監理課 課長補佐 新田弘毅氏
「発注業務にかかる最近の話題について」	石川県土木部技術管理室 課長補佐 田中清二氏

◇定員 金沢会場100名 能登会場50名
※定員になり次第締め切ります

◇主な対象者 石川県建設業協会会員の工事監督者

◇受講料 無料

◇締め切り 7月10日(水)

◇その他 この講習会はCPDS、CPD対象予定(2ユニット申請中)です。
駐車場の数に限りがあります。各社乗り合わせにご協力ください。

【お申込み・お問合せ先】

(一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当：川西 坂本
TEL：(076)242-1161 FAX：(076)241-9258

令和6年度いしかわインフラ・フォトクリップ募集



建設業の魅力を
切り撮り!



いしかわ

インフラ・ フォトクリップ

令和6年 9月末まで
作品大募集

石川県建設フォトコンテスト

最優秀賞
賞状+
5万円 副賞
1点

優秀賞
賞状+
2万円 副賞
2点

入賞
賞状+
1万円 副賞
2点

審査員特別賞
賞状+
1万円 副賞
数点



審査員 山崎 エリナ

写真家。国内外でも写真展を多数開催。インフラメンテナンスの人にクローズアップした写真集に「インフラメンテナンス」、「Civil Engineers 土木の肖像」、「トンネルの誕生」など、最新刊に「アクアライン」、「ローカルゼネコンの素顔」を出版。2019年にインフラメンテナンス大賞優秀賞(国土交通省)を、2023年にはインフラメンテナンス特別賞(JSCE)を受賞。インフラを守る人たちへのエールの曲「この空の下で」を制作、音楽配信中。

応募方法
詳しくは裏面へ

『石川県電子申請システム』よりご応募ください。



主催 石川県、(一社)石川県建設業協会

募集案内

「いしかわインフラ・フォトクリップ」
～建設フォトコンテスト～

「道路や橋などの建設、除雪活動、災害復旧などで働く人の輝く姿」や
「日々の生活の中にある道路や橋、建物の大切さや美しさ」を写真に収め投稿してください。

■ 募集内容

① 通常部門

- ・建設現場や事務所で働く人の「いきいきとした姿」「真剣な表情」等を捉えた作品
- ・工事中又は完成した「日々の暮らしを支える道路や橋、ダム、建物」などの重要性や美しさを捉えた作品

② 災害復旧・復興部門

- ・令和6年能登半島地震の復旧・復興現場の様子や復旧・復興現場で活躍する建設業者を捉えた作品

※いずれも令和5年1月以降に石川県内で撮影したもので未発表のもの

■ 応募期間

令和6年7月1日(月)～9月30日(月) まで

■ 応募方法

右記QRコードを読み取っていただくか、
『石川県電子申請システム』HPから検索キーワード「インフラ・フォトクリップ」
と入力し、応募フォームへアクセスしてください。



※画像データは1点につき10MB以下で添付してください。

※応募数は御1人様各部門2点以内に限り(両部門への応募可)。

※応募作品の著作権は撮影者に帰属します。ただし、主催者は、作品を広報資料として、無償で使用する権利を有します。なお、使用にあたっては、画像処理・トリミング等を行う場合があります。

■ 審査及び審査結果

- ・主催者が委嘱する審査員が、「写真」と「作品についてのコメント」により総合的に審査します。
- ・審査結果は、入選者に通知するほか、ホームページ等で発表します。

■ 表彰 (各部門)

- ・最優秀賞 1点 (賞状と副賞5万円)
- ・優秀賞 2点 (賞状と副賞2万円)
- ・入賞 2点 (賞状と副賞1万円)
- ・審査員特別賞 数点 (賞状と副賞1万円)

■ 留意点

- ・人物の撮影に際しては、被写体本人から応募について承諾を得てください。
- ・著作権、肖像権、商標権等に関する問題が発生しても、主催者は一切の責任を負いません。
- ・撮影時は、安全に十分配慮し、工事現場や民地への無断侵入が無いよう注意してください。

※個人情報の取扱い

- ・応募時に御記載いただいた個人情報は、連絡調整以外の目的に使用しません。ただし、入選作品の発表や作品の展示にあたり、氏名を公表する場合があります。

問い合わせ先: 石川県土木部監理課建設業振興グループ メール: kensetsu@pref.ishikawa.lg.jp

本コンテストの応募者は、応募時点で、上記募集案内に記載されている内容に同意したものとみなします。

石川県建設産業連合会だより

令和6年度理事会・通常総会の開催

開催日時 令和6年6月13日(木) 15:00~16:00
 開催場所 石川県建設総合センター
 出席者 理事19名(委任状10名)
 会員団体15団体(委任状14団体)

概 要

理事会・総会に先立ち、鈴木裕司石川県土木部参与から「令和6年度石川県の土木施策について」と題した講演をいただきました。

講演後、理事会・総会を開催し、平櫻 保会長が挨拶で、参加役員及び会員団体に対する能登半島地震災害対応への労いと感謝の意を示すとともに、全国建産連からの災害見舞金350万円については、正副会長協議のうえ全額石川県に寄付したことを改めて報告しました。議事では、「令和5年度事業報告・収支決算」及び「令和6年度事業計画・収支予算」並びに「役員選任」の3議案がいずれも異議なく承認されました。新会長には、鶴山庄市氏が選任され、新任役員には、副会長に真柄卓司氏、常任理事に山田外志雄氏、理事に嶋田一夫氏(県建築組合連合会)、大橋渉三氏(県左官業組合連合会)が選任されました。



鈴木参与の講演



理事会・総会

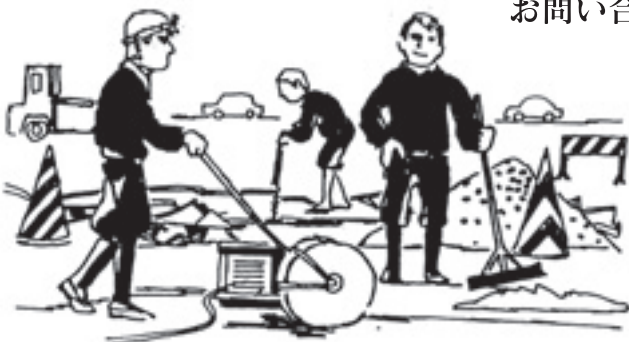


平櫻会長の挨拶

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合
 損害保険ジャパン株式会社
 損保ジャパンパートナーズ株式会社
 TEL 076-231-7786
 FAX 076-231-7766
 〒920-0919 金沢市南町5-20
 中屋三井ビル2F

石川県土木施工管理技士会だより

令和6年度通常総会・講演会の開催

開催日時 令和6年6月11日(火) 13:30~17:00
 開催場所 石川県地場産業振興センター
 出席者 188名(委任状791名)

概要

鶴山庄市会長の挨拶に続き、令和5年度事業報告並びに収支決算、令和6年度事業計画並びに収支予算、役員改選の3議案について審議・報告を行いました。

新役員として、会長に岡田康晴、副会長に池崎義典、宮下英己、理事に若林 寛、吉野荘司、加納 奨、戸田芳宏、按察正弘、監事に鶴山雄一、畠野利光の各氏が選任されました。

席上、(一社)全国土木施工管理技士会連合会表彰において優良工事従事技術者表彰を受賞した木村昌弘、銭田茂和、濱田祐輔の三氏に鶴山会長から表彰状が伝達されました。

総会終了後の講演会では、鈴見裕司石川県土木部参与から「能登半島地震における災害対応と今後の取り組みについて」をテーマに、ご講演をいただきました。



会長挨拶



鈴見参与の講演

JCMセミナーの開催

開催日時 令和6年6月27日(木) 13:00~17:00
 開催場所 石川県建設総合センター、(一社)七尾鹿島建設業協会、(一社)小松能美建設業協会
 出席者 49名

概要

JCMセミナーをオンライン形式で開催しました。現場の創意工夫Ⅱをテーマに、ケイヨーエンジニアリング事務所代表 堺 逸郎氏から講義をいただきました。現場の創意工夫について身近な実例からDXの事例の説明まで、幅広い内容で、受講者の知識向上につながる有意義な講習となりました。



金沢会場



七尾会場



小松会場

関係機関からのお知らせ

有資格業者の皆様へ

発注者綱紀保持にご協力願います

北陸地方整備局は、国民の信頼を確保するため、

- ① 発注事務に関する情報管理の徹底
- ② 事業者等との応接方法
- ③ 事業者等からの不当な働きかけに対する報告の徹底
- ④ 執務室の環境整備

などを定め、発注事務に係る綱紀の保持に努めています。

■ 以下の点に、ご注意ください ■

秘密の漏洩防止等のため、執務室への自由な入室を制限しています。
～ ご用の方は、受付又はカウンターで付近の職員にお声かけください ～

オープンな場所での打合せをお願いします。

～ 原則、複数の職員で対応することとしています ～

指名通知又は競争参加資格確認通知を受けてから入札を執行するまでの間は、営業に関する面会はお断りしています。

※詳しくは、

北陸地方整備局ホームページ (<http://www.hrr.mlit.go.jp/>) へ

ホーム > 情報公開 > 発注者綱紀保持 からご覧ください。

「不当な働きかけ」は、記録・公表されます！

「不当な働きかけ」とは

1. 事業者等の競争入札への参加又は不参加に関する要求行為
2. 事業者等の受注又は非受注に関する要求行為
3. 非公開又は公開前における予定価格又は低入札価格調査制度の調査基準価格(これを推測できる金額を含む。)に関する情報漏洩要求行為
4. 入札参加者に関する公表前における情報漏洩要求行為
5. その他、事業者等への便宜、利益若しくは不利益の誘導又は談合につながるおそれのある要求行為

[具体例]



《 事業者と官製談合防止法 》

※入札談合等関連行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律

官製談合防止法は、一見すると公務員のみ(に適用され「事業者」には関係ない法律のように思われるかもしれませんが)。しかしながら、刑法第65条第1項に「身分犯の共犯」についての定めがあり、これによって「事業者」の社員が官製談合防止法第8条に違反した「職員」の共犯とされた判例もあります。(名古屋地裁H29.2.21判決)

■官製談合防止法 第8条(職員による入札等の妨害)
職員が、その所属する国等により行方売買、貸借、請負その他の契約の締結に関し、その職務に反し、事業者その他の者に談合を唆すこと、事業者その他の者に予定価格その他の入札等に関する秘密を教示すること又はその他の方法により、当該入札等の公正を害すべき行為を行ったときは、五年以下の懲役又は二百五十万円以下の罰金に処する。

■刑法 第65条(身分犯の共犯)
犯人の身分によって構成すべき犯罪行為に加功したときは、身分のない者であっても、共犯とする。

国土交通省 北陸地方整備局
新潟市中央区美咲町1-1-1 TEL025-280-8880 (担当: 矯正業務管理官)



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。